

沖縄県理学療法士連盟

令和8年度5月 第1回沖理連定例会 議事録

日 時;令和8年5月21日(木)19時～

議案作成:當間 議事録作成:砂川

場 所;オンライン会議

参加者; ☐末吉恒一郎 ☒池城正浩 ☒當間智史 ☒比嘉憲彦 ☒砂川真利香 ☒真栄里智仁
☒当真祐二 ☒武富新太郎 ☒砂川大成 ☐玉城すみれ ☒西原美樹 ☒仲宗根美紀
☒太田祥平 ☐瀬底正仁 ☒宮城嗣成 ☐下里真司 ☐立津統 ☐砂川昌信 ☐仲西
里野 ☒宮崎信一 ☒金城良和

議案・報告事項:

司会 : 當間会長

1. 開会・挨拶

池城前会長より開会挨拶があり、新体制となったことへの期待と、今後は當間会長を中心に連盟活動を進めていく旨の発言があった。また、厚生労働省内でリハビリテーションの質に関する動きが進んでいることにも触れ、県内会員の声を拾いながら、行政や関係機関との連携を進めていきたいとの意向が示された。

2. 新体制に伴う自己紹介

當間会長より、連盟活動の新体制について説明があり、出席者それぞれより自己紹介が行われた。

3. 新人・異動会員オリエンテーション

日時:5月23日(土)、14～17時 場所:沖縄リハビリテーション福祉学院

提出資料申し込み締め切り:5月16日(土)まで

當間連盟会長より、

- ・ 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士としての専門職アイデンティティを伝えること
- ・ 身分法や職域に関する理解を深めてもらうこと
- ・ 連盟活動の必要性を周知すること

を目的に説明を行う予定であるとの共有があった。

4. 連盟活動・組織運営について

池城幹事より、政策活動推進委員会と連盟の位置づけについて補足説明があった。

- ・ 政策活動推進委員会は協会内に設置され、連盟との関係性を持ちながら活動している。
- ・ 協会では対応が難しい部分を連盟が支える役割を担っている
- ・ 会員が主体的に企画提案を行い、活動を活発化させていくことが重要である

などが共有された。

また、今後予定される選挙活動や議員との連携も含め、連盟として協会活動を支援していく方針が確認された。

5. HP 進捗状況:(下里広報企画部長→太田広報局長、當間)

太田広報局長より、広報局の活動状況について報告があった。

- ・ 前任者からの引継ぎが完了した
- ・ 宮城氏、瀬底氏を含めた3名体制で運営している
- ・ 投稿ルールやホームページ改修内容について協議を行った
- ・ デザイン変更や運用改善を進めている
- ・ 属人的な運営にならない体制づくりを目指している

などが説明された。

また、當間会長より、中央主催研修会への参加や情報発信についても、沖縄県として積極的に取り組んでいきたいとの共有があった。

6. HP 更新状況報告

- ・ 4月: 日理連診療報酬改定研修会、女性局・青年局主催研修会(小川かつみ座談会)、青年局主催研修会(福永ゆうき市議会議員)
- ・ 6月: 青年局主催研修会、6/3(水)、20時~21時、馬場裕樹氏、介護情報基盤のポイント

7. 當間会長より、連盟会員数および寄付金状況について説明があった。

- ・ 入会申込/寄付金申込(Peatix・通帳記帳運用)状況(當間委員)

R4 年度: 入会人数: 140 名 会費: 61,500 円 寄附金: 51,500 円。

R5 年度: 入会人数: 65 名、会費: 30,931 円、寄附金: 20,199 円、残高: 232,489 円

R6 年度: 入会人数: 127 名、会費: 63,500 円、寄附金: 38,000 円

R7 年度: 入会人数: 26 名(Peatix: 名、銀行: 名)、会費: 円、寄附金: 円

R8 年度: 入会人数: 17 名(Peatix: 11 名、銀行: 5 名)、会費: 16,000 円、寄附金: 5,000 円

- ・ 令和8年5月20日時点で17名が入会している
- ・ 役員については連盟会員登録への協力をお願いしたい
- ・ 会員情報は Excel にて管理していること 現在當間会長が管理している。

が共有された。

続いて、

- ・ 入会案内文書
- ・ 入会申請書
- ・ 寄付金申請書

について説明があり、ホームページ掲載に向けて確認が行われた。

(1) Peatix 運用について

入会方法について意見交換が行われた。

主な意見として、

- Peatix 導入自体がハードルになっている⇒アプリ登録や操作方法が分かりづらい
- 銀行振込の方が分かりやすい場合もある
- ただし銀行振込では手数料問題がある

などが挙げられた。

(2)今後の対応

- 当面は「銀行振込」と「Peatix」の両方を継続運用する
- 操作手順を分かりやすく説明する資料作成を検討する
- 他の決済サービス導入も継続検討する

こととなった。

8. 4月活動報告:

・(1)励ます会への参加

國場幸之助を励ます会:4月4日(土)、11:30~13:30、パシフィックホテル、真栄里・當間
真栄里副会長より、4月4日に開催された「國場幸之助先生 励ます会」へ出席したことが報告された。議員との直接的な関係構築ができたことや、南風原町議選への応援にも参加し、地域議員との繋がりを持ちながら活動を進めていきたいとの発言があった。

・東京都連盟元会長接待:4月17日(金)、北谷、比嘉・立津・當間
学校局代表として、立津会員に参加いただいた。

・リハ議連総会:4月22日(水)、11:30~18:30、東京、比嘉・當間

9. その他

・『リハビリテーション統括調整室』設置

5月19日付で正式に立ち上がり、17名の構成。

室長:厚生労働省 大臣官房審議官 江浪武志氏

室員:医政局、老健局、保健局、その他地域における介護予防の事業や高齢者の保険事業等を担当する関係部局職員により構成。

・『リハビリテーションに関する小委員会』

5月21日(木)より自民党内体制新たにスタート。小川克巳先生は事務局長代理。

・日理連女性局定例会議 5月12日(火)19:30~20:05 西原

司会進行 竹内 氏 参加者計 12 名

(1)リハビリテーションを考える議員連盟総会報告

(2)日研ブースについて

(3)次回(7月)の小川先生の座談会の件について:開催時間はアンケートで決める。候補時間 19:30~、20:00~、21:00~、日曜日の昼間など

(4)その他

- ・埼玉県士会 BBQ 大会約 70 名越え参加予定、 ゲスト小川先生、田中先生
- ・5/13 衆議院厚生労働委員会、5/14 衆議院災害対策特別委員会の視聴方法について参加者同士で教え合った。
- ・女性局員不在となっている県が 10 県ありチラシを作成して募集を周知する。

不在県：青森、岩手、山形、群馬、千葉、山梨、長野、奈良、高知、大分

- ・青年局より、
 - ・引継ぎを実施
 - ・若手向け交流企画（バーベキュー等）も検討している
 - ・今後中央青年局との連携を強化していきたい

などが共有された。

當間会長より、局役員を 3 名配置したことで、負担にならないように活動して欲しいことが伝えられた。

10. 今後の組織強化について

當間会長より、今後の基本方針として、

- ・ 沖縄県理学療法士協会との連携強化
- ・ 組織力強化
- ・ 財務基盤強化
- ・ 連盟活動の周知拡大

を進めていく方向性が示された。

また、「まずは連盟活動を知ってもらうこと」が重要であり、会員理解を広げる広報活動を進めていくことが確認された。

基本戦略とロードマップ：

- ・沖縄県理学療法協会との強固な関係構築、組織力および財務力の強化を重点項目として掲げている
- ・中央の動向に倣い、養成校との連携を目的とした**「学校局」の新設**を検討している。
- ・KPI(数値目標)：2 年後の参議院議員選挙に向け、南部・中部・北部・離島の各エリアで合計 100 名以上の会員確保を目指す
- ・最終的な目標は、2028 年 7 月の任期満了までに、国政に理学療法士の代表を送り出すことの重要性を浸透させること

11 情報共有

- ・ **リハ議連総会の報告**：会長と東事務局長が長田町での総会に参加し、島尻安伊子氏ら国会議員との面会や、リハビリテーション専門職の重要性について情報収集を行った。
- ・ **診療報酬改定への対応**：救急・回復期のリハビリ要件やアウトカム評価の変更点について共有された。これに伴い、5 月末から各支部（八重山、糸満、北部、南部、中部）での説明会や意見交換会が予定されている。

- **地域医療構想:** 沖縄県の地域医療構想や第9次医療計画において、理学療法士協会としてどのような課題や意見を求められているかを把握し、情報を拾い上げていく重要性が示された。
- **女性の視点:** ライフステージに合わせた働き方や、介護離職を防ぐための支援など、連盟だからこそ取り組める課題について意見が出された。
- **組織運営:** 1人に負担が集中しないよう、各局で複数名が協力し合い、情報を共有しながら活動していく方針が確認された

次回開催 令和8年7月16日(木)19:00～(第3木曜日)